

2 授業づくり訪問

平成31年度 授業づくり訪問 実施計画

仙台市教育センター

(1) ねらい

校内研究推進に係る授業づくりに関わり、授業力の向上及び校内研究の推進を支援する。

(2) 対象

校種	幼稚園	小学校	中学校	特別支援	合計
H31 訪問予定校数	1	59	31	1	92

※ 2年間で全ての市立学校（園）を訪問します。原則、教育指導課で行っている教育課程訪問と交互に実施することになります。

(3) 期間 8月上旬～1月下旬

※ 期間をⅠ期（8月～10月）、Ⅱ期（9月～11月）、Ⅲ期（11月～1月末）に分け、それぞれの時期に合わせた校内研究の推進を支援します。訪問の時期は実施年度によって変え、Ⅰ～Ⅲ期をバランスよく訪問できるようにします。

※ 授業づくり訪問の実施日については、指定した時期の中で各校の希望を基に調整を行い、2月下旬までに各校へ通知する予定です。

(4) 形態 半日×2日コース

※ 授業づくり及び校内研究推進に向けた有意義な話し合いができるよう、全教職員参加を原則とします。時間の確保と検討会の持ち方の工夫をお願いします。

(5) 内容

<授業づくりの視点>

◇ 「見通し・振り返り」学習活動を取り入れた授業づくり

- (取組の視点)
- ・ 授業の冒頭で問いを持たせる工夫
 - ・ 授業の冒頭で目標（めあて）を示す活動
 - ・ 授業の最後に学習したことを振り返る活動
 - ・ 学習の過程を振り返り、新たな問いを持たせる工夫 など

※ 研究のテーマとして設定することを求めたものではありません。

※ これまでの取組に見られた課題のいくつかを「取組の視点」として例示しました。参考にいただきながら、各校で取り組み方を工夫してください。

<授業づくり訪問1（1日目）>

全教職員による提案授業に係る事前検討を通して、研究の視点に基づく提案や課題等の共有化を図る。持ち方については以下の具体例を参考にし、各校で工夫する。

1-A：グループ協議型

- ① 校内研究の概要について確認する。
- ② 指導演に沿って、提案授業の視点や授業者の願い等を確認する。
- ③ グループに分かれ、提案された視点に基づいて指導演を検討する。
- ④ グループ協議の内容を全体で検討し、授業改善のポイントの共有化を図る。

1-B: 模擬授業型

- ① 校内研究の概要について確認する。
- ② 指導案に沿って、提案授業の視点や授業者の願い等を確認する。
- ③ 提案された視点に基づいて模擬授業を行う。
- ④ 模擬授業を振り返りながら、提案された視点に基づいて指導案を検討する。
- ⑤ 指導案の修正点を協議し、授業改善のポイントの共有化を図る。

1-C: 先行授業型

- ① 先行授業を行う。
- ② 校内研究の概要について確認する。
- ③ 指導案に沿って、提案授業の視点や授業者の願い等を確認する。
- ④ 先行授業を振り返りながら、提案された視点に基づいて指導案を検討する。
- ⑤ 指導案の修正点を協議し、授業改善のポイントの共有化を図る。

1-D: 全体協議型

- ① 校内研究の概要について確認する。
- ② 指導案に沿って、提案授業の視点や授業者の願い等を確認する。
- ③ 全体で提案された視点に基づいて指導案を検討する。
- ④ 指導案の修正点を協議し、授業改善のポイントの共有化を図る。

- 検討会終了後に指導主事が話をする時間を設定し、指導案に関わる助言や校内研究等に関わる話を聞き、一人一人が授業改善の見通しを持つ。

<授業づくり訪問2 (2日目)>

「提案授業」という位置付けを明確にし、今後の授業改善につながる授業検討を全教職員で行い、校内研究の継続化、活性化を目指す。持ち方については以下の例を参考にし、各校で検討する。

授業づくり訪問2

- ① 校内研究に係る提案授業を参観する。
- ② 授業検討会を行う。(持ち方については以下の例を参考にする)

2-A: ワークショップ形式

2-B: ペアでの話し合い

2-C: プロセスシート

2-D: フリーカード法

2-E: 協議・助言中心

「教育はいま第15号」より

- ③ 成果と課題の確認と授業改善のポイントの共有化を図る。

- 検討会終了後に指導主事が話をする時間を設定し、提案授業に関わる助言や校内研究、「見通す・振り返る」学習活動を位置付けた授業づくり等に関わる話を聞き、一人一人が授業改善の見通しを持つ。